

令和2年度 対馬市における森林環境譲与税の譲与額及び用途

1 譲与額 64,580千円

2 用途

事業区分	事業名	事業費（千円）		事業内容		税導入の効果
		うち令和2年度の森林環境譲与税	うち他の財源		詳細	
① 意向調査の準備作業	森林経営管理事業	5,016	5,016	0	森林所有者に対して、経営管理に係る意向調査を実施するための事前準備を実施。	税活用により、 ・意向調査の事前準備として、一部地域を対象として経営管理が行われていない森林の抽出、意向調査優先順位設定のための評価要素の整理などを行うことができた。 ・私有林整備のため、未利用材の搬出や森林作業道の補修等に助成を行い、森林の循環を確保するとともに森林環境の保全を図ることができた。
③ 私有林整備	森林環境譲与税活用事業補助金	35,000	35,000	0	未利用材搬出支援、森林作業道補修支援、森林更新支援（防鹿ネット設置）、被害防止施設補修支援等をメニューとした補助金及び事務費。	
⑰ 基金積立（森林整備等）	基金積立	14,564	14,564	0	今後増大すると予想される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備（市町村森林経営管理事業）に備えた積立を実施。	対馬市は、面積の89%が森林であり、林業が基幹産業の一つとなっていることから効果的な森林整備を積極的に実施していく必要がある。 森林経営管理制度を円滑に運用するため、まずはモデル地区において事業を進めながら課題の洗い出し等を行う予定であるが、モデル地区及び意向調査優先順位を設定するための評価要素の整理などを行うことができたため、今後はその成果を基にモデル地区の設定及び意向調査を実施していく予定である。 令和2年度に森林環境譲与税を原資とした補助金を新たに創設しており、未利用材の搬出や森林作業道の補修等に助成を行ったところであるが、本事業を継続していくことによって私有林の整備促進を図りたい。
⑲ 基金積立（木材利用等）	基金積立	10,000	10,000	0	今後建築が予定されている公共建築物の木造化・木質化に備えた積立を実施。	
合計		64,580	64,580	0		その他、基金への積立を行ったところであるが、これは今後予定している森林経営管理制度による森林整備と公共建築物の木造化・木質化に備えたものである。